



5月26日北朝鮮の核実験に抗議の座り込み

市政報告

6月定例議会

主な決定議案は次のとおりです。

人事院勧告による職員と議員の夏季一時金の0.2カ月削減

平均一人7万円の減額となります。

補正予算

緊急経済対策で府中市に国から3億300万円、県から7千万円の交付金があり、補正予算が組まれました。具体的には農道・農業施設維持補修工事費として5千9百万円、勤労青少年ホーム改修9千万円、旭小学校床改修1千万円、保育所の保育室にクーラー設置4千9百万円、小・中学校の

発行者
小川敏男
水田豊

府中市出口町 1076-4

TEL 41-7894

パソコン導入8000万円、公民館にデジタルテレビ購入240万円、また景気後退による法人税還付のため基金を取り崩し2億1600万円も予算化されました。西部地区統合小・中学校建設工事請負契約の締結予定価格は9億3千万円でしたが、入札価格は7億2千万円で、戸田建設・武田組に落札となりました。落札価格との差が2億円以上と大きく、議会でも「工事は大丈夫か」と質疑が相次ぎました。当局は「設計管理会社と職員の常駐で管理を行なうから大丈夫」と答弁しています。

ごみ処理協力金の削除を求める請願は不採択に！

5千名の署名と共に提出された有料ごみ袋の無料化をもとめる請願は、厚生委員会でも賛成2、反対3で不採択、最終日の本議会でも賛成少数で否決されました。

協力金半額一年延長は来年4月の市議会議員と市長選挙を前にした政治的配慮であって市民の理解は得られていない。減量の目標は達成されていること。

昨年10月に指定ごみ袋を議会の議決なしに実施したのは認められないことなどの主張は平成クラブと公明党の13名によって否決されました。

暑中お見舞い申し上げます。

2009年盛夏

この議会報告をもって 暑中のご挨拶とさせていただきます。

特集

府中市保育問題

補助金削減がもたらしたものは



法人の解散

府中保育会
府中市幼稚園

と職員的首切り

結果をみれば起ったことの意味が良くわかる

平成クラブのヒステリックな不明朗補助金キャンペーンの行き着いた先は、府中保育会と府中市幼稚園、両法人の解散と、まさみ園（光彩会）が指定管理者として和光園保育所の経営者になったことです。まさみ園への市の委託費は、3年間で3億6千万円です。両法人の職員は職場を失い、いままでの先生に引きつづいて保育してほしいという保護者の願いもかないませんでした。

保護者の願いも拒否される

和光園やつくし保育所の保護者のみなさんに府中市は「指定管理者制度を導入しても何も変わりませんからご安心ください」と説明してきました。何も変わらないどころか先生の総入れ替えとなつていきます。和光園保育所の保護者のみなさんが集めた5千名を超える指定管理者導入反対の署名も届きませんでした。署名受取りに市長は立ち会いませんでした。保護者に会わないのも、はじめから法人を指定するつもりがなかった

たと考えれば腑に落ちます。

犠牲者は、法人職員

いうまでもないことです。両法人の職員さんたちには何の罪もありません。平成クラブのキャンペーンによって、不当な高給をもらっているとか、賃金カットは当然などといわれ、働く喜びや人間としての尊厳を奪われました。それでもいつかわかってもらえる自分の職場を守り、仕事をこなしてききましたが、職員30名は職場を奪われました。地労委の斡旋に基づく協定

で任期付き職員になったのは、そのうち11名にすぎません。しかも法人職員時代の賃金の70%です。

協定書の締結は闘争の成果

職員たちはもちろんただ黙っていたわけではありません。労働組合に結集し、生活を守るために30%もの賃金カットは受け入れられないと法人の理事会との団体交渉を通じて解決を図ろうとしてきました。ところが理事会は府中市長のいいなりで当事者能力がありません。やむなく府中市を相手に広島県労働委員会に救済申し立てをおこないその結果、昨年8月に協定が結ばれたのです。労働組合としての活動がなければ職員30名は一人残らず首切りになっていたでしょう。



必要なのは非難ではなく

円満解決の努力

今回、元職員たちが、昨年12月のボーナスカット分の561万円の差押え裁判を行なったのがけしからんとまたも平成クラブのキャンペーンビラが4月にまかれました。6月議会では、府中市議会の15名の議員が訴訟行為をやめるよう決議をあげました。しかし本当に必要なことは、円満解決のための努力です。裁判を受ける権利は、日本国憲法第16条によって何人にも保障されています。

市民の声を聞く市長であれ

話し合いをせず、一方的で強権的な伊藤市長の姿勢が裁判沙汰を生んでいます。市民の声を聞く市長であっていただきたい。

事業失敗のツケを 市民が尻拭い 桜が丘団地問題

毎年6月議会に桜が丘団地の決算報告がされます。

桜が丘団地は地権者でつくった土地区画整理組合が、造成費を支払うため金融機関に融資を要請したら、「売れる見込みがない団地に融資はできない」と融資拒否にあい、実質破綻し、府中市が30億6480万円で買い上げたものです。この約30億円の資金の一部は国からの融資も受けたため開発公社内に別会計の保留地管理法を設立したものです。

販売結果は18%

販売は、2001年から始めて8年、357区画中67区画(18%)、67区画のうち個人は47区画、2年目からは1桁の販売、ここ2年は1区画の販売結果です。

約30億円の借金返済は5億円あまりで残金は25億円、この間銀行に支払った利息は8413万円となっています。

失敗の原因を明らかにし 責任を明確に

議会での質疑の中心は、3月議会会で「売れ残った290区画を府中市で買い上げる」と言った伊藤市長の発言について集中しました。「府中市が買い上げることが政策転換である。まず事業失敗の理由を明らかにすべきだ」という質問に市長は「政策転換はしていない」と答弁、「これでは、なしくずしで、けじめなき政策転換である。行政の長として説明責任を果すべきでないか」と質問が続き、市長は「責任は販売し続けること、桜が丘団地を抱えたことは行政と議会で決めたこと」と、議会に責任転嫁する答弁を繰り返し、議場は当時桜が丘団地担当助役だった

市長の発言かと騒然となりました。

政策転換するなら

さて、こうした結果に市民は「民間は必死で再建しているのに、市には緊張感がないのか」と言われています。「どうせ税金」と自分の腹が痛まないことが緊張感を失わせています。市民の怒りを市長はじめ関係者は真摯に受け取るべきです。政策転換するのであれば一、なぜ失敗したかをあきらかにすることが重要です。提案した行政、容認した議

会、そして関わった開発公社理事、地権者、土地区画整理組合それぞれに責任があります。失敗は、買い手があるのかという需要調査も行った計画を点検もしない杜撰な議会審議の結果です。失敗の結果、尻拭いさせられるのは市民です。そのためにも関係者に赤字額を請求することが必要です。二、市長が言う「売れなければ借金返済の不足分を市が一般財源から肩代わりし、相応する土地を市が引き取って、将来にわたって

売っていく」とはどういうことか明らかにすることで。売れる見込みのない団地を引き取ることは不良資産を持つことです。さらに販売に向け値切りするのか。値切りをした損益分はどのように補てんするのか。その財源はどこにあるのか。説明が必要で。三、税金を使うからには市民の合意が必要です。市民に現状と今後の計画を明らかにして判断を受けるべきです。こうした方針をだすことが政策転換には必要と考えます。

1. 販売結果

2001年	24区画
2002年	22区画
2003年	4区画
2004年	7区画
2005年	2区画
2006年	2区画
2007年	5区画
2008年	1区画

合計 67区画(18%)

*なお10年で完売の計画であった。

2. 返済状況

借入金

2001年度初	30億6480万円
2008年度末	25億4000万円
返済額	5億3480万円

3. 事業費総額81億1130万円

府中市が行なった整備費16億6500万円(道路・上下水道・公園・調整池)

府中市が購入した市営住宅用地12億7500万円

宅地造成費51億7130万円

なお、造成費が金融機関から融資を受けられず府中市が30億6480万円で買い上げた。

課題は南北道

府中市の有効求人倍率の年平均は2007年0.89、2008年は0.72となっていました。年末以降一気に悪化し、今年4月は0.29となっています。ハローワーク府中は「会社からの求人不足でなく、リストラされた人が多すぎる」と説明しています。2008年4月に中国電力府中営業所移転で100名転出、福山北警察署開設により府中警察署の20名削減と続き、さらに福山北産業団地に新工場を建設するなど業績好調の企業の市外転出も進んでいます。市内にあっては個人事業主の廃業が増えています。事業所数、従業者数をここ12年間でみてみますと、1991年事業所数487所、従業者数12,257人、2007年304所(38%)、8,531人(33%)と3割以上の減少です。こうしてみますと、企業誘致とか、地場大手企業の転出に歯止めをかけることが必要です。そのためには南北道の早期の完成です。そのために社会クラブは国に「地方財政の充実を求める」意見書を提出したが、平成クラブと公明党の反対で否決となった。「内容は賛成、提案の日付が元号(平成)でないため反対」というのが理由だった。

有効求人倍率

	府中市	福山市	広島県	全国
2月	0.40	0.85	0.67	0.59
3月	0.37	0.69	0.60	0.52
4月	0.29	0.57	0.55	0.46

有効求人倍率とは求職者1人に何人の求人があるかを示します。

府中市の人口はとうとう4万5千人をきってしまった。ところで「最近、新市町は府中市からの転入が多い」と聞くので福山市新市支所で調べると、人口はずっと減少傾向だったのに2006年だけは全体で前年より55人だけが增えている。さらに相方(さがた)だけを見ると、世帯数で61、人口で185人

人口減少の原因は?

増えている。理由はお分かりのとおり「あしな台」への転出です。売れなくて何の手も打たない桜が丘団地は市民からそっぽを向かれ、新市町の人口増につながっています。現在は高齢者の転入が増えているそうで、グループホームなど介護施設の豊富さにあると分析されている。

男性の力で、お産の無料化を!

衆議院選挙が近づいてきました。民主党の政策の一つが出産費用の無料化です。大昔、戦後強くなったのは「女性とストッキング」などと言われていましたが、戦後も女性の地位はいつこうにも変わっていません。男性は「女性は守ってあげるもの」などと考えており、「ともに未来をつくる対等な相手」と考えているようにみえません。女性ばかりが、同じ仕事をしても男性の半分の賃金、身分はパートや派遣と労働条件は切り下げられるばかりです。だから女性は、泣き言など言わず、腹がすわっているのだけ。男性は女性の労働の現実をしつかりみて自分のこととして出産費用の無料化を取り組むことです。

プリントップ

ちよこつと松永へ

お隣の松永を舞台にした小説「ハブテトル ハブテトラ」に、松永では誰でも知っているという「プリントップ」が出てきます。本の中では「寒天ゼリーやらフルーツやらクリームやら入っとなつて、上にプリンがのっかつとるんよ」と説明してあります。遅ればせながら行ってきました。栗柄町を抜け、2号線に出て、尾道に向い、高諸神社前という信号を左折し、右にある喫茶ルナです。後ろにユーホーが見えます。値段は650円、プリンが二つだと「ダブルプリントップ」と言います。噂によると朝は作れないそうです。